

## 山行報告書

山行管理部

### 公開山行 貴船山 4月22日

CL 願野、SL 田中、高橋、森野 参加 60名 (内一般3名)

京橋 8:17→9:04 出町柳 9:30→二ノ瀬 9:55

二ノ瀬駅…富士神社 (点呼、体操) 10:35…夜泣き峠 11:04…大岩分岐 11:51…樋の水峠分岐 12:20…12:50 貴船山三角点 (昼食、クラブ紹介) 13:50…貴船山最高点…尾根道…大岩分岐 14:50…ユリ道…富士神社 15:35 解散

良い天気のおかげか、これから始まる夏山シーズンへの足慣らしと思って参加された方が多かったのか、たくさんの参加がありました。春山歩荷組、夏山歩荷組と、計4班に分かれての山行となりました。ややこしい分岐はなかったのですが、一応後続のグループを待つようにしました。私たち以外の登山者はほとんどなく、追い越し、すれ違いももちろんなく、これがたくさんの登山者がいる山だったら、大変だっただろうと感じました。短かすぎるかと心配したコースでしたが、ちょうど良い塩梅に収まりホッとしました。

(願野 記)

### サロン 鶴見緑地でピクニック 5月3日 L宇野 参加7名

地下鉄鶴見緑地～咲くやこの花館に入館するとまず、木に着生している蘭の花々を觀賞する次は、オニハス、睡蓮の咲くコーナ、珍しい花々を移動しながら觀賞する、世界の実の成る木を見上げながら、サボテンのコーナ、丸い頭の天辺に可愛い花を咲かせ、其の種類の多さ色とりどりは可憐としか言いようがないな一、今は看板にはならなく普通になったヒマラヤの青いケシ、が沢山咲き清楚な姿に嬉しくなる。新顔のビヤダルの木がどんな葉っぱを付けるのか楽しみ?、蒼い房で咲くヒスイカズラ、が一寸早かったのが残念でした。ホールでは熱帯のフルーツ展が開かれていました。館を出て緑地の木陰に陣取り豊かな新緑を眺めながら、ピクニックランチタイム、だが開いたのは筍、蕨の煮物、煮豚、煮卵 (笑) 参加者の健康に乾杯。万博の形跡の残る新緑の中をゆっくり歩き、薔薇園に着く、今が盛りの薔薇は世界の共通の花、最高の花だな一と思います。風車下のマリーゴールドも所狭しと咲き、心ウキウキ。園内は広く回りきれなく、又の機会に楽しみたいものです。3時頃解散しました。仲間のお元気な姿を見ることは嬉しい事です。

(宇野 記)

## 春山特別山行 御岳、開聞岳 5月3日(木)～6日(日)

CL 森山、SL 岩佐、岸本、石野(博) 参加19

名

5/4 10:50 鹿児島勤労者山岳会(鹿児島県連)と御岳登山口で合流  
11:40 テレビ塔 12:25 八合目 12:50 御岳頂上 13:10 下山開始  
14:35 テレビ塔 15:00 御岳登山口

5/5 06:30 休暇村出発 07:00 開門公園駐車場で鹿児島勤労者山岳会と合流  
07:15 登山口出発 08:40 五合目 09:25 七合目 10:25 九.五合目で折  
り返す 12:35 登山口 17:00 志布志港着

計画段階では、韓国岳、開聞岳であったが、霧島連山えびの高原・硫黄山の噴火で、韓国岳に向かう道が通行禁止となった。鹿児島県連の協力を得て、韓国岳に代わり御岳に決定。二日間とも天候には恵まれたが、5/5の開聞岳は霧島山系の登山客がみな開聞岳に集中した様子で、登山客が多く、登り下りとも、満足に歩けず、頂上一步手前で引き返さざるを得なかった。(フェリーに乗船するため)ただ、二日間とも鹿児島県連の協力を得て、交流を含め大変お世話になりました。

(石野(博) 記)

## 教育山行 北アルプス 奥穂高岳 5月4～5日

CL 高桑 SL 高山 参加7名

5/3 18:00 大阪中郵便前集合 → 名神・桂PA → 0:00 平湯P(寛治さん合流)6:00 →

5/4 8:00 活動の判断情報収集 → 9:00 平湯キャンプ場沈殿

5/5 6:00 起床 → 9:30 テン場 → 9:45 平湯の森 → 12:30 解散・帰路へ  
→ 18:00 JR 大阪駅前

荒天危ぶまれるなか、直前に予備日を充てて日程をずらすも厳しい予報が変わらずそれでも、一縷の望みと木村寛治さんとの再会を楽しみに平湯まで進出する。しかし、平湯バス停の上高地行きの客はまばら、中止か涸沢までいや、岳沢までと思案してる間に雨、降雪と目の前の景色が目まぐるしく変わり、上高地ではプラス暴風と諦め平湯沈殿に決する。上高地直行バス乗車客は否応なしに上高地へはちょっと気の毒は後から気づく。木村寛治さんとの再会は良かったものの反省点として

①天候不良に対しての延期、中止の判断は参加者間で上手く連携できた。

②しかし、もう一步踏み込んでの決行、中止、行先変更の判断が出来なかった。

③予備日を設けると同様に荒天時の代替行先の設定も課題として出る

(高桑 記)

## 土曜山行 釈迦岳 5月12日

CL 堺、SL 新熊、森(庸) 参加 28 名 (内一般 1 名)

J R 大阪駅 7:45 発新快速敦賀行き→J R 堅田駅 8:35 着 乗り換え J R 堅田駅 8:44→J R 比良駅 8:58 着 江若バス 9:10 発→イン谷口 9:22 着 (バス 2 便目は 9:40 着) イン谷口発 9:55・・・釈迦岳分岐 10:30・・・沢筋の道・・・北比良峠 (昼食) 12:25~13:00・・・カラ岳 13:40・・・釈迦岳 14:00・・・大津ワングル道 14:20・・・イン谷口 16:15

朝、比良駅からのバスに全員乗ることが出来ず、折り返してきたバスに残りのメンバーが乗ったため、そろって登山を開始したのは予定より 20 分以上遅くなってしまった。少しハードなコースなので天気が悪い場合や大幅に遅れてしまった場合に備えて別コースも考えていたが、天気もいいことでもあり、28 名予定通りのコースに行くことにした。途中大きな休憩は昼食時の 30 分を含めて 4 回、それ以外に声がかかった時などに 2, 3 回とった。大人数だったが 2 班に分けずに、土曜山行のメンバー 7 名にサポートをお願いした。頂上付近ではイワカガミやツツジ、それにシロヤシオがたくさん咲いていてほっとするひと時だった。最後まで気の抜けないコースだったが、予定より早くイン谷口に着きバスにも乗ることが出来た。これもひとりひとりが緊張感を持って歩き、自分の事だけでなく前後の人への気配りをしてくださったおかげだと感謝しています。

(堺 記)

**教育部 春季きたろうハイキングABC 5月13日 CL 高桑 参加 7 名**  
阪急仁川駅 09:00 → 地すべり資料館 10:30 → 森林公園展望台 11:30  
→阪急甲陽園駅 15:00 解散

前日の土曜山行の好天が嘘のように朝からしっかりと雨模様。それでも 7 名 (1 年未満は 2 名) が初心に戻ってハイキング ABC のテキストに沿って基本的な学習をする。駅前で多くの好奇心な視線の中、地図の説明、コンパスをセットして目的地へ進む。市街地の中では甲山の遠景と地形図の表現を確認する。トイレ休憩を兼ねて資料館で見学して 23 年前の災害に改めて防災、減災の大切さを痛感する。予報通りに雨足は強くなるも甲山へ向かう。展望台の屋根下で、計画書と報告書の書き方、簡単なレスキューに関する講習、ロープの結び方等々を全員で勉強する。この講習中に小学生低学年の子供たち 20 人位が雨の中、雨を楽しむかのように元気にはしゃぐ姿を微笑ましく眺めながら甲山への登頂 (地形の確認をするつもりだった) を省略して甲陽園へ下山解散した。

(高桑 記)

**自然保護 豊中労山との交流植物観察会 5月13日** L石野(博)、上野  
参加22名(豊中労山11名 きたろう11名)

蛍池7:55→10:30池河内湿原11:00→12:20中池見湿地(昼食・  
レクチャー・散策)14:15→17:10蛍池

天気予報では全国的に雨、やはり、当日は雨。第一最寄地は池河内湿原。バスから降りたくない位の降雨。木道を慎重に進み、湿原の中に。かきつばたの紫が雨に洗われた緑の中に引き立つ。30分の散策を楽しむ。

次は、メインの中池見湿地。まず、清潔感溢れる素晴らしい施設のビジターセンターで昼食、ガイドさんからレクチャーを受け、いよいよ湿地散策。壺をひっくり返したという程でもないが、かなりの降雨。傘が邪魔になり、一つに固まることもできず、ガイドさんの声も雨音でかき消され、説明が全員に届かなかったのが、とても残念!

三方を山で囲まれ、流入する河川がないのに、湿地を保っている不思議な地形(袋状埋積谷)。約25haという狭い湿地に3000種の動植物。希少な渡り鳥ノジコの中継地にもなっているそうです。そんな貴重な場所が、北陸新幹線の延伸ルートで、湿地を縦断することになっていたのです。その後、環境への影響が大き過ぎると、湿地の端を通るようルート変更されたそうです。

外来種から在来種を守る取り組みもされていました。アメリカザリガニの駆除、年間1万匹を捕獲するそうです。

今回は、豊中労山のお世話になり、カフェのおもてなしも受けました。お天気には恵まれませんでした。自然とインフラの共存、外来種の問題、自然保護の2大テーマを目の当たりにする貴重な体験をさせて頂きました。山行であれば、きっと、中止になっていたことでしょう。観察会だからこそ、決行できたのでしょうか。どんなことも、ポジティブシンキングですね。

(上野 記)

**ウイークデイ 瀧山城跡から鍋蓋山 5月15日** CL五十嵐 SL近藤参加13名  
新神戸9:45→瀧山城址10:40→大竜寺11:45→再度公園12:10 昼食12:40→鍋蓋山  
13:15→大竜寺14:15→諏訪山公園15:45 解散

雲一つない快晴で新緑の青紅葉の中急な登りもなく快適に歩き再度公園に着き鍋蓋山からはポートアイランドや神戸空港の眺めも良くて少々暑かったけれど13名全員無事諏訪山公園へ降りてきました有難うございました 秋の紅葉の頃に又来てみたいなと思いました。

(近藤 記)

**有志山行 宮之浦岳 5月3~6月 CL 願野、SL 松本(光) 参加 5名**

5/3 神戸空港 9:35→10:45 鹿児島空港→高速船ターミナル 13:20→  
15:10 宮之浦港→宿(安房)

5/4 宿 4:00→5:08 淀川登山口手前に路駐…淀川登山口 5:40…6:35 淀川小屋…  
8:20 花之江河…9:15 投石平…10:54 栗生岳…11:14 宮之浦岳 11:31…  
12:05 栗生岳…14:37 黒味岳分岐…14:51 花之江河…16:30 淀川小屋…  
17:26 淀川登山口

5/5 宿 7:20…白谷雲水峡入口 8:26…9:35 白谷山荘…10:20 辻峠…10:33 太鼓岩…  
12:07 白谷山荘…14:30 白谷雲水峡入口

5/6 屋久杉ランドハイキング→安房港 13:30→15:30 高速船ターミナル→  
鹿児島空港 19:55→21:00 神戸空港着 解散

天気恵まれた屋久島ではありましたが、宮之浦岳への途中 1800m付近からは風が強く寒かった。空を見るとすごいスピードで雲が移動していた。手元の温度計では 10℃位。コースの前半は木の根だらけ、後半は意外と滑らない岩という感じでしょうか。時間はかかりましたが無事下山出来良かった。翌日、白谷雲水峡入口から屋久杉とツツジが満開の森をゆっくり楽しみながら太鼓岩へ。太鼓岩からは、宮之浦岳、永田岳、太忠岳、おまけに開聞岳も遠くに見る事が出来た。笑い話ではありませんが、携帯トイレにも何種類もあり、使いやすい物、使いにくい物ありと、よく見て買われることをお勧めします。(願野 記)

**有志山行 至仏山 5月5日 CL 井、SL 福永 参加 5名**

鳩待峠(5:25)→小至仏山(トラバース道)(7:55)→(8:45)至仏山(9:06)→(同コース下山)→(11:30)鳩待峠

尾瀬・至仏山 2,228m、登山口鳩待峠 1,591m で標高差 637m、累積標高差登り下りとも 713m、総歩行距離 9.3k。「山と高原地図・尾瀬 2015年版」での無雪期積算歩行時間(休憩時間除く)4時間50分。1週間前からの天気予報では、GW 後半は上空に寒気が入り悪天、特に強風の予報。この為、出発直前に耳あて、ゴーグル(又はサングラス)、フェースマスク、ネックウオーマー、オーバーミトンなど防風対策の服装を追加しました。前日のネット HP での2天気予報では曇時々晴れ、至仏山 2,000m付近地点で西の風 17m/s、気温-2°。この強風予報の為、前夜ミーティングでは両足とストックでの3角形耐風姿勢や風の息、森林限界超え地点で強風時は撤退し予備日(翌日、好天予報)を活用する、などの打合せを行いました。しかし、当日天候は登山口ではほぼ無風状態、風は峠など風当たりの強い場所でのみ時々、や

や強く吹いたくらい。雪は時々、舞いました。登り始めて間もなくアイゼン装着。コースはほぼ危険箇所はありませんでしたが、メンバー間で雪山歩行での基本はフラット着地、小至仏山トラバース時は山足進行方向、谷足谷開きなど確認しました。CLが2/3位登った辺りから、体調不調気味で小刻み歩行・牛歩となり、登りに時間を取られることになりました。頂上でも風は余り無く、気温2℃。空気が澄み見晴らし良く谷川岳や武尊山、燧ヶ岳などを望めました。急斜面の雪面直登や長い岩氷の稜線歩きも無かったので、全員6本爪アイゼンで十分対応出来ました。ただ、短い区間の岩場でアイゼン歩行が不安定そうなメンバーも有り、事前練習での慣れも必要かなと思われました。ネットHPでの強風予報は、今回は見事に外れ残雪期の雪山ハイクを楽しみました。計画段階資料は『雪山登山ルート集』(山と溪谷社、2014年)、ヤマレコHP「至仏山」2018年GW前半分。費用(各自負担食費除く)は16,531円/人(交通費・車10,641円・シャトルバス1,960円、民宿素泊3,930円)。急なプラン形成のため原稿締切に間に合わず、会報の「有志山行の事前掲載」は出来ませんでした。(井 記)

## 有志山行 高原山、那須岳、磐梯山、安達太良山、一切経山・東吾妻山

5月16～21日 L井 参加3名

5月16日(水)大間々台駐車場6:55→八海山神社7:55→剣ヶ峰8:32→10:07高原山(釈迦ヶ岳1,795m)10:30→剣ヶ峰分岐11:55→八海山神社12:23→13:20大間々台駐車場

5月17日(木)那須ロープウェイ山頂駅9:48→山頂口10:24→10:30那須岳(茶臼岳1,915m)10:40→11:15那須ロープウェイ山頂駅

5月19日(金)八方台駐車場6:45→弘法清水8:55→9:30磐梯山(1,819m)9:42→10:10弘法清水10:20→12:00八方台駐車場

5月20日(日)あだたら山ロープウェイ山頂駅9:08→表登山口・仙女平分岐9:45→10:40安達太良山(1,700m)10:55→(牛ノ背経由)11:43峰ノ辻→12:20くろがね小屋12:55→勢至平13:25→14:45奥岳登山口駐車場

5月21日(月)浄土平レストハウス駐車場7:00→酸ヶ平避難小屋7:55→8:40一切経山(1,949m)8:50→酸ヶ平避難小屋9:18→分岐9:30→10:55東吾妻山(1,975m)11:23→12:10姥ヶ原分岐12:40→13:35浄土平レストハウス駐車場

前半のみ天気が余り良くありませんでしたが、中半以降はほぼ好天に恵まれました。5月中旬の時期でしたが、全体に風のせいで寒く感じられました。特に、磐梯

山では約 5m程度の標高差の岩場頂上に登るのに、体が風に持って行かれそうな程でした。東吾妻山周辺でも、やや強い風が吹き、真冬用のジャケットを着用しました。ロープウェイ利用の 2 山も有り、ゆったりとしたスケジュールで栃木県と福島県の山々を楽しみました。費用(各自負担食費など除く)は、40,198 円/人(交通費・車 25,514 円、ロープウェイ 2,620 円、宿泊代・バンガロー3 泊 6,500 円、オートキャンプ場・温泉付 4 泊 5,564 円)。(井 記)